

消防団NEWS

◎牛久市消防団幹部紹介◎
石井美知夫副団長

何事も率先して行い、その活躍は消防団だけにとどまりません。県PTA顧問でもあり、幅広い人脈と知識は、あらゆる場面でみんなを助けます。



入江唯晃副団長

電気・土木・農業など何でもこなします。頼りにされることも多く、地元のみならずさまざまな活動を引き受けて、東奔西走しています。



分団紹介⑦

凡例 ①団員数、②平均年齢、③平均勤続年数

牛久地区

第7分団(南部)

①14人②38歳③13年



第7分団では一致団結し、消防団活動に取り組んでいます。今後ともご支援、ご協力をお願いします。

※各分団の紹介はホームページでも掲載しています。

お問い合わせ 市交通防災課 ☎内線1682

1年前から連載を始めた分団紹介は、今回で幹部と全28個分団の紹介を終えました。消防団の素顔をご覧いただき、身近な存在として親しみを感じていただければ幸いです。

今後は、引き続き「消防団NEWS」で、消防団のあまり知られていない部分や訓練行事をお伝えしていく予定です。



おわびと訂正 3月1日号広報うしくの「地域安全コーナー」で市内の振り込め詐欺の被害総額に誤りがありました。正しくは399万円です。おわびして訂正いたします。

聖 小川芋銭

芋銭と俳句雑誌『ホトトギス』③

芋銭は、明治43年4月増刊号から本格的に「ホトトギス」に挿絵画家として挿絵を描き始めます。この号には「外風呂」(図1)、「種井番」(※注・図2)など11点の挿絵が掲載されました。

その後、芋銭が亡くなる直前の昭和13年1月号まで、現在確認されているだけで195

点の挿絵を「ホトトギス」誌上に掲載しています。

これら芋銭の挿絵は、画題を自分の周辺に求めたもので、それ自体が観賞用として完成された作品であり、本文とは特に関係が無いのが特徴です。

しかし、10年前に募集絵画に投稿していた芋銭が、この号から挿絵画家として挿絵を描くようになった経緯は分かっています。

(※注)種井番：農作業の一つで、田植え前の水に漬けた稲の種籾を種井たねもみという小屋で守る番人。



↑「種井番」(図2)



↑「外風呂」(図1)

小川芋銭研究センター学芸員 秦 美紀子